

## 指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	白石区市民部地域振興課(861-2422)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

### I 基本情報

<b>1 施設の概要</b>			
名称	札幌市白石東地区センター	所在地	札幌市白石区本通16丁目南4-27
開設時期	平成8年5月10日	延床面積	1,219.88㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	図書室、ホール、集会室、実習室、和室等		
<b>2 指定管理者</b>			
名称	札幌市白石東地区センター運営委員会		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日		
募集方法	非公募 ..... 非公募の場合、その理由:当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立され、これまでに良好な管理運営を行っている当団体に継続的に管理運営を行わせるため、非公募とした。		
指定単位	施設数: 1施設 ..... 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
<b>3 評価単位</b>			
	施設数: 1施設 ..... 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価														
1 業務の要求水準達成度																	
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼当地区センターは、地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、地域住民の福祉増進に寄与することを目的として設置したものであり、経費の節減を図りつつ、サービスの向上、利用率の向上、地域住民による施設運営への積極的参加を目指している。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼地域住民の誰でもが気軽にかつ安心して利用できる地区センターづくりを推進している。地区センターの存在・活動を広く周知するため毎月発行の地区センターだよりやホームページの活用など、広報活動を充実させ、地域住民に平等に利用を促進をしている。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼光熱水費縮減の取組として、照明器具の間引き、暖房器具やロードヒーティングの効率的な使用など、利用者にも協力いただきながら節約に努めている。</p> <p>▼事務局や各事業で使用する用品等は、グリーン購入ガイドライン指定品を購入・使用している。また、印刷物は両面印刷を基本とし、使用済み用紙の裏面利用など、環境に配慮した事務処理に努めている。</p> <p>▼排出されるゴミを適切に分別処理している。また、新聞や段ボールについては、古紙回収事業で処理しており環境配慮に貢献している。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>▼責任者としての事務局長のほか、事務職員2名、図書職員3名、パート3名を配置している。</p> <p>▼新規採用職員にベテラン職員を活用したOJTを行うとともに、担当者を社会保険関係事務、経理関係事務、救命講習会の外部研修により人材育成に努めている。</p> <p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>▼朝礼や業務連絡日誌等を通じて職員間の情報共有化を図り、利用者の視点に立った円滑な管理運営を推進している。</p> <p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>▼清掃、エレベーター保全、自動ドア保全、ボイラ保全、消防設備保全、建築基準法定期点検、エアコン法定点検の各業務を集約(委託)したことにより、窓口が一本化され、効率的な運営につながっている。警備、自家用電気工作物保安管理、外構緑地管理、駐車場除排雪の各業務についても第三者委託を行っており、何れも適切な業務の履行を確認している。</p> <p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)</p> <table border="1" data-bbox="409 1828 1055 2197"> <thead> <tr> <th>開催回</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 運営協議会 9月22日</td> <td>・令和3年度の実施事業について ・令和3年度アンケート結果について ・令和4年度の事業計画・予算について ・その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(構成) 白石区地域振興課長、同区地域活動担当係長、東白石町内会連合会副会長、大谷地第一町内会副会長、折り紙サークル「折紙会」代表、開放事業利用者代表、白石東地区センター運営委員会会長、白石東地区センター運営委員会総務部長</td> </tr> </tbody> </table>	開催回	協議・報告内容	第1回 運営協議会 9月22日	・令和3年度の実施事業について ・令和3年度アンケート結果について ・令和4年度の事業計画・予算について ・その他	(構成) 白石区地域振興課長、同区地域活動担当係長、東白石町内会連合会副会長、大谷地第一町内会副会長、折り紙サークル「折紙会」代表、開放事業利用者代表、白石東地区センター運営委員会会長、白石東地区センター運営委員会総務部長		<p>当地区センターの管理業務等に関する基本方針等に従い運営しており、統括管理業務に係る各項目は着実に実施した。</p> <p>職場研修(内部講師、外部講師)の実施、職場外研修(北海道社会保険協会、札幌商工会議所等)への参加など、人材育成にも努めた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。</p> <p>職員の人材育成について、OJTのほか、業務上必要とされる様々な研修を職員に受講させていることは評価できる。</p> <p>今後も適正な運営に努めつつコミュニティ活動の活性化につながる取組の継続に期待している。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により運営協議会の開催回数が要求水準を一部満たしていないがやむを得ないものと判断する。</p>	A	B	C	D				
開催回	協議・報告内容																
第1回 運営協議会 9月22日	・令和3年度の実施事業について ・令和3年度アンケート結果について ・令和4年度の事業計画・予算について ・その他																
(構成) 白石区地域振興課長、同区地域活動担当係長、東白石町内会連合会副会長、大谷地第一町内会副会長、折り紙サークル「折紙会」代表、開放事業利用者代表、白石東地区センター運営委員会会長、白石東地区センター運営委員会総務部長																	
A	B	C	D														

開催回	協議・報告内容
第1回 館長会議 7月25日	(議題) ・各館の事業(区民講座、地域住民の交流等を目的とした事業、無料開放事業)の実施(再開)状況について (情報提供) ・指定管理者の令和5年度一斉更新スケジュール等について
第2回 館長会議 1月30日	(議題) ・運営企業等の調査について ・菊水元町地区センターにおける利用料金等について ・企業の内部会議について (情報提供) ・キャンセル料及び光熱費の補填について ・指定管理者更新に係る協定締結までの事務について ・業務・財務検査について
(構成) ・白石区地域振興課職員2名、区民・地区センター館長4名	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼日々の収入・支出に関して、収入・支出伺等により適宜確認している。なお、月末には、通帳、総勘定元帳、収支資金残高表により、1ヶ月間の収入・支出の状況及び月末の資金残高並びに保管現金を確認している。

▼現金の取り扱いに関して、「札幌市白石東地区センター運営委員会現金取扱規定」に基づき、適正に管理している。

▼運営委員会委員による予算執行状況確認を毎月実施している。

▼万が一の事故に備えて、動産総合保険に加入している。

▽ 要望・苦情対応

▼要望・苦情に関して、内容の検証、速やかな対応に努め、改善策等を含め職員間で情報を共有している。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼利用者アンケートを実施し、250名から回答を得た。アンケート結果は2週間ロビー掲示板に掲示した。

▼札幌市の業務検査では特に改善すべき指摘・指導はなかった。引き続き適正な事務執行に配慮している。

▼その他事業報告等についても、札幌市の指示に沿って遅滞なく処理した。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼施設に勤務するパート職員について、北海道の最低賃金920円(令和4年10月2日発効)に対応している。</li> <li>▼施設に勤務する職員に対し、時間外労働・休日労働をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。</li> <li>▼施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守した。</li> <li>▼施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。</li> <li>▼すべての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。</li> <li>▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させている。また、必要に応じて適切に届出等を行った。</li> <li>▼常勤職員には、1年に1回の定期健康診断を実施した。</li> <li>▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。</li> <li>▼職員の労働意欲の向上につながるよう、様々な労働環境の改善に努めている。</li> <li>▼職員の健康保持及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、就業時にマスクを着用したほか、消毒液の常備、換気など感染防止に努めた。</li> </ul>	<p>職員の労働に関する法令の順守や、雇用環境の向上に配慮している。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>各種法令を遵守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。 今後も継続した取組を実施していただきたい。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>各種法令を遵守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。 今後も継続した取組を実施していただきたい。</p>			
A	B	C	D								
<p>各種法令を遵守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。 今後も継続した取組を実施していただきたい。</p>											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼利用者の安全について <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季間の館内床面のスリップ事故防止のため、ロビーへ清掃用モップを配置している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止対策としてアルコール消毒液の設置、貸室利用者入替り時の換気などを実施した。</li> <li>・応急手当用の救急箱を設置している。</li> </ul> </li> <li>▼市民サービスの向上について <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した会議用テーブルを更新した。</li> <li>・拾得物を処理台帳により適切に管理している。</li> </ul> </li> <li>▼連絡体制の確保について <p>職員間の情報共有を図るとともに、緊急時の連絡網を作成し、職員間のみならず関係機関、警備・保守点検事業者とも連絡できる体制を確保している。</p> </li> <li>▼保険加入について <p>施設における事故に備えて損害賠償保険に加入し、行事参加者に傷害保険を加入している。</p> </li> </ul>	<p>当地区センターは平成8年に開設しており、施設・設備の老朽化対策として令和3年度に施設内の改修工事を行った。また、屋上の雨水処理やホール(体育館)のウレタン塗装の後処理など適宜対応している。</p> <p>このほかサポーターの皆様にご協力いただき、樹木の冬囲いなどを行っており、利用する方々の地区センター運営への参画の機会としている。</p>	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>市民サービスの向上のため、卓球台を更新するなど老朽化した備品への対応を行ったことは評価できる。 経年劣化による施設設備の故障にも適宜対応していただいている。 地域サポーターの協力を得ながら施設の維持管理を行っており、今後も継続した取組を期待している。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>市民サービスの向上のため、卓球台を更新するなど老朽化した備品への対応を行ったことは評価できる。 経年劣化による施設設備の故障にも適宜対応していただいている。 地域サポーターの協力を得ながら施設の維持管理を行っており、今後も継続した取組を期待している。</p>			
A	B	C	D								
<p>市民サービスの向上のため、卓球台を更新するなど老朽化した備品への対応を行ったことは評価できる。 経年劣化による施設設備の故障にも適宜対応していただいている。 地域サポーターの協力を得ながら施設の維持管理を行っており、今後も継続した取組を期待している。</p>											

▽施設・整備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼施設・設備の維持管理業務について  
そのほとんどを第三者委託により実施したが、何れも適切に業務遂行された。

▼修繕について  
トイレのウォシュレット故障により交換、防犯上の懸念から不良が生じていた自動ドアの錠前交換を行った。

▼備品管理について  
非常時に備え無停電電源装置を更新した。また、老朽化していた卓球台等の運動用具を利用者還元の一環として更新した。

▼駐車場について  
札幌国際交流館の改修工事(R4.5~R5.3)に使用する管理事務所を設置するため、当館駐車場は使用不可になったことから、代替駐車場として札幌国際交流館の駐車場を確保した。

▼緑地管理等について  
構内の低木類の冬囲い及びその撤去はサポーターの協力により、また、敷地内樹木の剪定作業は地区内業者により行った。

▽ 防災

▼消防計画に基づく防災訓練を実施した。

▼災害時における避難所の開設・運営に関し、札幌市との連携等、職員間の情報共有を図った。また、札幌市支給の防災用寝袋10個、毛布10枚のほか運営委員会で寝袋10個、毛布20枚を購入し常備している。

(4)事業の計画・実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務について

▼令和3年度までパソコン講座中心の構成だったが、パソコンの老朽化等で困難になったことから、令和4年度からは幅広い分野での講座に変更した。

▼太極拳入門やスマホ&タブレット等で13講座を計画し、うち11講座を実施した。着物リメイク及びあなたのための美文字レッスンの2講座は新型コロナウイルス感染症の影響等で中止となった。

- ・ 募集人員 計 248人
- ・ 目標 各回 80% 198人
- ・ 実績 計 171人
- ・ 目標達成率 86.4%

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務について

▼文化祭や囲碁を楽しむ会等で8事業を計画し、うち読み聞かせの会、ミニコンサート等の4事業を開催した。文化祭、囲碁を楽しむ会、グランドゴルフを楽しむ会、テニポンを楽しむ会は新型コロナウイルス感染症により中止となった。

事業名称	参加見込	目標	実績	目標達成率
読み聞かせの会	225	参加見込数の80%	167	92.8%
ミニコンサート	300		289	120.4%
ぬいぐるみのおとまり会	20		23	143.8%
ゲートボールを楽しむ会	20		15	93.8%
合計	565	452	494	109.3%

区民講座は13講座を計画し11講座を実施、地域交流事業は新型コロナウイルス感染症により、計画した8事業のうち4事業が中止、施設無料開放はホール改修工事の影響はあったものの年間計画に基づきほぼ実施することができた。図書業務については、新型コロナウイルス感染拡大による休室等の影響を受けなかったことから、対前年度で約2400人の利用増、約7300冊の貸出増となり、適正な運営状況に近づきつつあることが窺えた。

A	B	C	D
<p>コロナ禍においても無料開放事業をほぼ計画どおり実施し、区民講座や地域交流事業についても利用者ニーズに応じた内容で多くを実施できたことは評価できる。</p> <p>図書業務についても、前年度以上の利用実績をあげるなど施設の設置目的に即した運営を行っていたため評価できる。</p>			

▽ 施設開放事業(無料)の実施について

▼文科種目として囲碁、体育種目として卓球、テニポン、バドミントン、ゲートボールの計5種目を週6回実施した。

- ・ 実施総日数 197日
- ・ 総時間数 613時間
- ・ 延べ利用者人数 2,254人

▽ 図書業務

▼新型コロナウイルス感染症及びリフレサッポロ改修工事の影響があったものの、令和3年度と比較して約2400人の増、貸出冊数で約7300冊の増となった。  
利用者数:18,592人 貸出冊数:64,558冊

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R3実績	R4	
			計画	実績
ホール	件数(件)	503	500	834
	人数(人)	8,668	12,300	16,015
	稼働率(%)	70	70	77
集会室	件数(件)	669	720	1,123
	人数(人)	5,438	6,100	10,611
	稼働率(%)	46	50	52
実習室	件数(件)	324	360	475
	人数(人)	3,316	4,200	4,863
	稼働率(%)	45	50	44
和室	件数(件)	194	220	443
	人数(人)	1,316	3,000	3,556
	稼働率(%)	27	30	41
計	件数(件)	1,690	1,800	2,875
	人数(人)	18,738	25,600	35,045
	稼働率(%)	47	50	53

▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件

▽ 利用促進の取組

- ▼館内掲示板の活用
- ▼広報紙「地区センターだより」の活用
- ▼ホームページの活用
- ▼広報さっぽろ(区内版)の活用
- ▼地域情報誌の活用
- ▼新聞イベント情報の活用
- ▼区民講座のチラシの作成と活用
- ▼コンサートのポスターの作成と活用
- ▼各種行事等開催時における施設利用の声かけなどにより、利用促進を図っている。

隣接する札幌国際交流館の改修工事(R4.5~R5.3)があり、この間、同館の貸室が利用できなかったこと、また、白石区民センターが新型コロナウイルスのワクチン接種会場になったことにより、両施設の利用者が当地区センターに流れたことを要因として、新型コロナウイルス感染症の中において、前年度と比較して大幅な利用者増となった。  
当地区センターを活動拠点にしているサークルは高齢化による会員数の減少という共通課題を抱えているため、センター主催の講座とタイアップするなどして会員増を図っている。  
引き続き、広報紙「地区センターだより」やホームページによる広報活動を続け利用促進に取り組む。

A	B	C	D
令和4年度特有の要因はあったにせよ、貸室業務の利用実績が大幅に伸びたことは大いに評価できる。			
利用者の定着及び更なる利用促進に向けて、積極的な情報発信や広報活動に努めていただきたい。			

(6)付随業務

▽ 広報業務

- ▼前述の利用促進の取組みに記載した広報媒体により、広報活動を行っている。「地区センターだより」については、東白石・白石東町内会連合会に回覧している。
- ▼ホームページの更新・管理を強化し、利用者に新鮮な情報を提供している。なお、白石東地区センターのホームページは、JIS X8341-3:2016に基づき、ウェアアクセシビリティ向上を目指し、JIS X8341-3:2016の適合レベルAAに配慮することを目標としている。

昨年度から地域情報誌や新聞も広報媒体に加えて、広報活動を展開している。さらに、講座のチラシやコンサートのポスター・チラシの作成など広報媒体を拡大している。ホームページには月平均800件弱のアクセスがあった。

A	B	C	D
様々な広報媒体を活用した事業周知を行っていることは評価できる。			
引き続き積極的な取組を期待している。			

2 自主事業その他

▽ 自主事業

- ▼古紙回収事業
 

回収総量	7,730 kg
奨励金等	29,840 円
- ▼自主事業収入を会議用テーブル更新経費の一部に充当した。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

- ▼施設の維持管理業務の第三者委託や物品購入は、市内事業者が発注している。また、敷地内樹木の剪定業務や新型コロナウイルス対策用品は地域内の事業者が発注した。

昨年度と同程度の回収量となっている。  
町内会や民間事業者の回収ルートもあり共存することとなる。  
自主事業である古紙回収事業は札幌市の環境行政に貢献しており、また、この事業収入は当会の貴重な収入であり、今後も継続していく。

A	B	C	D
自主事業を着実に実施し、その収入を備品購入経費として還元するなど適正な管理運営が行われているものと評価できる。			

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	令和5年1月16日～令和5年2月3日 貸室、図書室、無料開放利用者に協力依頼 回答者250人	アンケート結果から、引き続き多くの利用者から高い評価を得ていることが窺えた。 区民講座を見直し、パソコン講座が中心だったものから幅広い分野での開催に変更した。		昨年度比べ多くのアンケートを回収したこと、どの項目も概ね高評価を得たことから適正な管理運営が行われているものと評価できる。 アンケートの結果、判明した市民ニーズを的確に捉え、区民の期待に応えられるよう取組を進めていきたい。	
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地区センターを利用したいかとの問いに、是非利用したいが63.0%、利用したいが28.5%、どちらかと言えば利用したいが5.7%であり、地区センターを今後利用したくないという回答は0%だった。</li> <li>・職員の態度は、とても良い50.2%、良い32.9%を合わせると83.1%となり、悪い、やや悪いは0.4%であった。</li> <li>・館内の清掃状況は、とても良い47.1%、良い43.0%を合わせると90.1%となり概ね良好であった。悪い、やや悪いは0%であった。</li> <li>・区民講座受講経験のある利用者は12.1%であり、講座受講者の満足度は3以上(5段階)が96.5%であった。</li> <li>・当館が実施する事業の認知度は、無料開放事業、文化祭、囲碁を楽しむ会の順に高かった。地域交流事業の参加者の満足度は3以上(5段階)が96.5%であった。</li> <li>・参加した講座や地域交流事業を何で知ったかの問いに、「地区センターだより」「広報さっぽろ」の紙媒体で60%超、口コミも25%程度あった。</li> </ul>				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>[要望]地区センターの一般開放の長期休止はしないでほしい</p> <p>[対応]地区センター事業の優先実施や市の工事で無料開放の中止期間があった。なお中止の理由や期間等は館内掲示等で周知している。</p>				

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R4計画	R4決算	差				
収入	35,402	37,171	1,769	施設運営の基盤となる利用料金収入は他施設の休館等やコロナ休館補償金等により大幅な増収となった。講座収入もほぼ計画どおりの開催できたことから予算並みを確保した。 自主事業についても、概ね前年度と同額の収入を得た。利用者へは、無料開放事業用の卓球台や会議用テーブル更新等で利益還元を行った。			
指定管理業務収入	35,372	37,143	1,771				
指定管理費	29,380	29,380	0				
利用料金	5,300	6,607	1,307				
その他	692	1,156	464				
自主事業収入	30	28	▲ 2				
支出	38,602	36,859	▲ 1,743				
指定管理業務支出	38,572	36,859	▲ 1,713				
自主事業支出	0	0	0				
収入-支出	▲ 3,200	312	3,512				
自主事業による利益還元	30	28	▲ 2				
法人税等			0				
純利益	▲ 3,230	284	3,514				
【参考】							
指定管理業務による利益還元		1,501	下記の通り				
▽ 説明							
<p>▼利用料金収入は、区民センターのワクチン接種会場となったことやリフレサポロの改修工事による利用増、コロナ休館補償金等により、対予算で1307千円と約25%の大幅増となった。</p> <p>▼講座収入は13講座のうち2講座が中止となったものの、ほぼ計画どおりに開催できたことから予算より微増となった。</p> <p>▼指定管理業務による利益還元の内容 開放事業用卓球台、会議用机3台等の備品整備に充当した。</p>							

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼令和5年度から新たな指定管理期間に入りことから、事務事業費の計画的な執行に努め、特に高騰する光熱費に対処するため節電等の徹底を図る。</p>		適	不適
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。</p> <p>▼情報公開請求及びオンブズマンへの調査申し立てはなかった。</p> <p>▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、反社会的勢力を排除した契約を行った。</p>		適	不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>・利用収入 隣接する札幌国際交流館の改修工事により同館の貸室が利用不可であったこと、白石区民センターがワクチン接種会場になったことで両施設の利用者が当地区センターに流れた。更にコロナ休館補償金等で施設運営の基盤となる利用料金収入は大幅な増収となった。これにより、利用者に対して、無料開放事業用の卓球台や会議用テーブル更新等で利益還元を行った。</p> <p>・区民講座 令和3年度までパソコン講座中心であったがパソコンの老朽化等に伴い、令和4年度から幅広い分野での講座開催に見直した。</p> <p>・ミニコンサートに関して 早めに来る来場者のためウエルカムコンサートを実施するなどのサービス向上を図り、昨年度に引き続き、過去最高の入場者数となり盛況となった。</p> <p>・無料開放事業 文化種目として囲碁、体育種目として卓球、テニポン、バドミントンを感染対策を行いながら事業を継続した。</p> <p>・施設設備 令和2年度の大規模改修で行ったウレタン塗装が不十分でホールに剥離が発生したことから、R4.11から約1か月間かけて既存ウレタン塗装の研磨・再塗装の全面改修を行った。</p> <p>・サポーター事業等 冬囲い及び撤去などでサポーターの皆様にご協力をいただいた。また、自主事業(古紙回収)についても順調に推移した。</p> <p>・支出 指定管理者期間の最終年度である。利用収入の増について利用者還元で備品購入等を行うとともに、経費削減のため光熱費の節約や無駄のない事務処理に務めた。</p> <p>・総評 上記取組により、アンケート結果も概ね良好であることから、地域の皆様に親しまれる地区センターの役割を果たしていると考えられる。</p>	<p>ポストコロナともいえる状況となり、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていた地域住民の交流等を目的とした事業(文化祭、囲碁を楽しむ会、グラウンドゴルフを楽しむ会、テニポンを楽しむ会)を再開する。なお、中止期間が長い適切な事業運営の確保が課題であり、特に文化祭に関しては調整事項が多く運営ノウハウが失われていることから、事業再構築の視点も取り入れながら地域と連携して進めていく。</p> <p>また、区民講座やミニコンサートについては、引き続き創意工夫をもって利用者、地域に親しまれる事業メニューに取り組んでいく。</p> <p>施設の維持管理に関して、巡回・点検を適宜適切に行うとともに、不良箇所等について早期把握に努め、速やかな対応を心がけるよう職員が意識をもって取り組んでいく。</p> <p>財政面では、物価や光熱費の高騰が見込まれる中、さらなる経費削減に努め、新たな指定管理期間を通して安定した運営を確保していく。</p> <p>これらの取組を着実に進めることで、地域のコミュニティ施設としての役割を果たしていきたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>貸室利用が増え収入が増加した分を利益還元として備品更新費用に充てていただいたことは利用者の満足度向上に資するものと考えられる。</p> <p>区民講座や無料開放事業の実施などコロナ禍においても、必要な対策を講じた上で率先して実施いただいております地域に密着した施設としての役割を果たしていただいていることがアンケート結果からも伺える。</p> <p>光熱費高騰などの財政面の対応にも配慮しつつ、今後も利用者のニーズを的確に把握し、地域コミュニティ活動の促進につながる取組の実施に期待している。</p>	